

予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 滞在型コンテンツ販売促進事業費補助金(R4分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内 3075)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 要求額 5,408 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正 要求額	5,408	0	0	0	0	0	0	0	5,408
決定額	5,408	5,408	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

全国的に拡大する新型コロナウイルス感染症の影響で、県内の観光産業は、これまで経験したことのない非常に厳しい状況に置かれている。アフターコロナを見据えた新たな旅スタイルへの対応や長期滞在観光の推進・観光消費額増加のために、(一社)岐阜県観光連盟で造成した商品のブラッシュアップ、販売促進を図ることで岐阜県での長期滞在の楽しみ方を提案する。

(2) 事業内容

滞在型コンテンツ販売促進事業(5,408千円)

- ・ 専門家によるコンテンツの磨き上げ、商品の改善を実施
- ・ VISIT岐阜県に商品を掲載するとともに、特設サイトを構築
- ・ SNS 広告を実施し商品の販売促進を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域をまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,408	滞在型コンテンツ販売促進事業（ブラッシュアップ・販売促進）
合計	5,408	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 後年度の財政負担

旅行商品の販売状況を踏まえて、今後の展開を検討する。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	滞在型コンテンツ販売促進事業費補助金(R4分)
補助事業者(団体)	(一社) 岐阜県観光連盟 (理由) 岐阜県への長期滞在を見据えた滞在型コンテンツの販売促進に等に取り組む岐阜県観光連盟へ補助
補助事業の概要	(目的) 長期滞在観光の推進・観光消費額増加のために、長期滞在を見据えた滞在型コンテンツのブラッシュアップ、販売促進事業を支援 (内容) 滞在型コンテンツ販売促進事業 滞在型コンテンツのブラッシュアップ、販売促進を行う
補助率・補助単価等	定額・定率・その他(例:人件費相当額) (内容) 定率 (理由) 滞在型コンテンツ販売促進事業
補助効果	岐阜県の観光消費額のさらなる増大
終期の設定	終期 令和5年度 (理由) コロナ禍での新たな旅スタイルの確立

(事業目標)

<p>ハード及びソフト両面で受け入れ態勢の整備を行い、長期滞在を大都市圏の企業等へPRする。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R7)	達成率
① 観光消費額	2,933億円 (R1)				3,300億円 (R7)	%
② 観光入込客数(実数)	4,800万人 (R1)				4,900万人 (R7)	%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	千円	千円	千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	ワーケーション実態・需要調査を実施。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	長期滞在観光の推進・観光消費額増加を図るために、事業者からも平日かつ長期滞在に寄与する滞在型のコンテンツに期待する声が多い。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50~100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）</p>	
(評価) —	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	市町村や観光協会等と連携し、観光素材の商品化を行うとともに、WEBで造成した商品を販売し、つどブラッシュアップを行うことにより、事業の効率化を図っている。

(今後の課題)

観光連盟で旅行商品を造成したが単発の商品であり、長期の滞在まで掘り起こせない。造成した各商品をブラッシュアップするとともに、商品を組み合わせ販売することで長期滞在型の商品として販売していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

旅行商品の販売促進を推進する。
